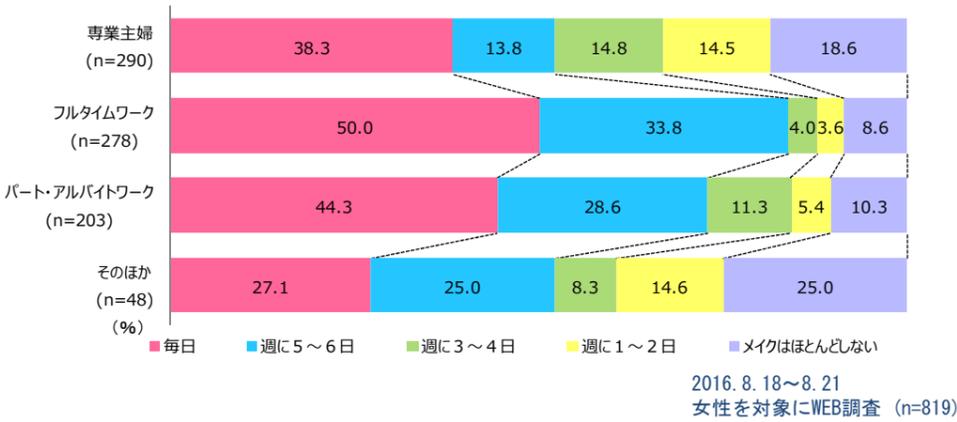


01 Woman's Trend

休日以外はメイクする人が7割近く、一方で専業主婦の半数は「週の半分くらいはすっぴん」 78%はメイクの腕に「自信なし」、特に40代は自信喪失？

Q. どのくらいの頻度でメイクする？



スキンケアについては男性用商品も当たり前になり意識はかなり上がっているが、メイクに関する実態や意識はどうなっているのか、全国の女性819人の回答から見てみよう。

そもそもメイクをする頻度は、全体で「毎日」する人が43.1%、「週に5~6日」が24.9%、要するに休日以外はほぼメイクしている人が7割近くに上るが、働き方別に見ると、当然ながら働いている人のメイク頻度に引っ張られていることが分かる。専業主婦は週の半分くらいはメイクしない人が半数。

何をすればメイクしたと思うのか、上位7項目を年代別に表にしたのが右上。60代以外はファンデーションを塗ればメイクしたと思うのが7割前後。以下チークか眉か口紅か、年代によってメイクポイントが変わるのが面白い。20代ではチークとアイメイクの比重が高く、40代以上は口紅重視なのは、メイクを覚えたときの流行をそのまま引きずっているのと、そ

の年代のメイクポイントの両方からだろう。メイクの腕前に自信があるのかというと、最も自信をなくしているのは40代で、半数以上は自信がないと回答。因みに5年前とメイクが変わったかという問いに、変わったと答えた人が多かったのは20代以下、40~50代は変わっていない人が6割以上もいて、メイク情報に疎くなっていると推察される。

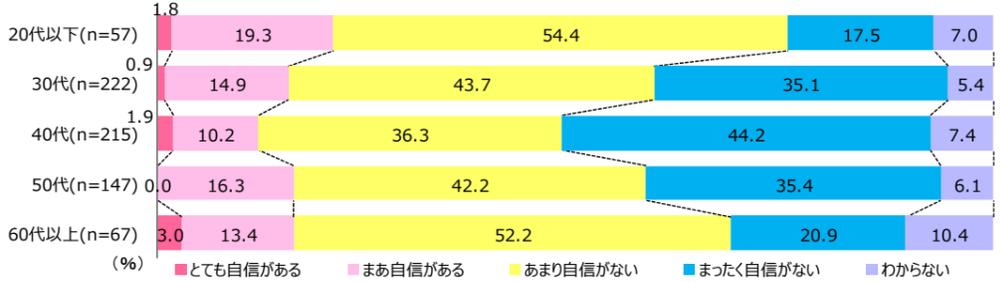
ちょうど老化を意識し出す年頃で、若い頃のメイクのままではおかしきと思いつつ、自分に似合うメイクの情報が得られない状態なのだろう。各メーカーの美容部員ではなくニュートラルな情報で年代に合ったメイクを教えてくださいと望まれていると思う。

一番難しいパーツは各年代とも「眉」がダントツトップ。いま気になるメイク商品を自由回答で聞いたら、キレイに描けて馴染みよく、汗で落ちないアイブロウを探し中、という声が多く挙がっていた。(所長/植田奈保子)

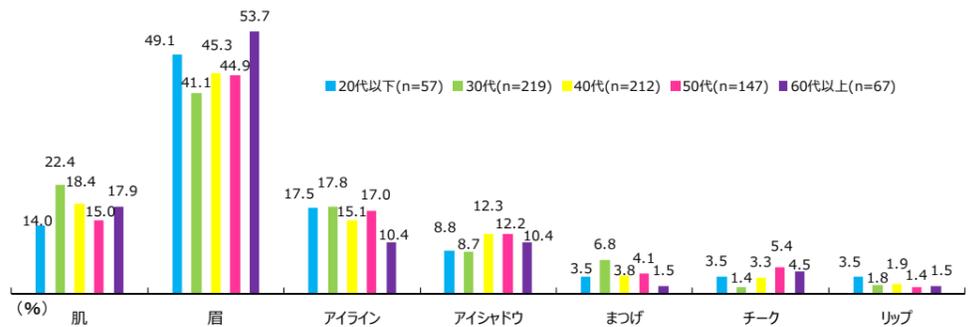
Q. 何をすれば「メイクした」と思う？ (上位7項目)

NO.	20代以下(n=57)	30代(n=222)	40代(n=215)	50代(n=147)	60代以上(n=67)
1	ファンデーションを塗る 73.7	ファンデーションを塗る 69.8	ファンデーションを塗る 67.0	ファンデーションを塗る 64.6	口紅をつける 62.7
2	チークをつける 49.1	眉を描く 47.7	口紅をつける 47.0	口紅をつける 61.2	眉を描く 58.2
3	眉を描く 49.1	BBクリーム・CCクリームを塗る 37.8	眉を描く 44.7	眉を描く 49.0	ファンデーションを塗る 55.2
4	BBクリーム・CCクリームを塗る 47.4	チークをつける 37.8	BBクリーム・CCクリームを塗る 39.5	アイシャドウを塗る 40.1	フェイスパウダー(お粉)をはた 34.3
5	アイシャドウを塗る 45.6	マスカラを塗る 34.7	化粧下地を塗る 28.4	BBクリーム・CCクリームを塗る 34.7	化粧下地を塗る 32.8
6	マスカラを塗る 43.9	口紅をつける 34.2	チークをつける 25.6	チークをつける 33.3	BBクリーム・CCクリームを塗る 32.8
7	アイラインを引く 42.1	化粧下地を塗る 32.4	アイシャドウを塗る 25.1	マスカラを塗る 25.9	アイシャドウを塗る 29.9

Q. 自分のメイクの腕前に自信ある？



Q. 一番難しいと思うパーツは？



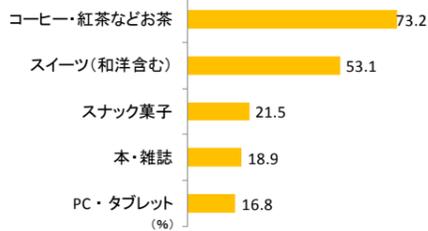
02 Woman's Data

【ミセスのキモチ】

主婦はひとりお茶&スイーツが息抜き

普段息抜きをするタイミング、専業主婦は正午~15時、パート・アルバイト主婦は15時~18時、フルタイム主婦は21時~0時がそれぞれ1位に。お気に入りの息抜きアイテムベスト5はコーヒー・紅茶などお茶、スイーツ、スナック菓子、本・雑誌、PC・タブレットだった。誰といる時が最も息抜きできるかは「一人である時」64.2%が最多で、「高級スイーツをこっそり買って一人で食べるのが幸せ！」という声も。

【家の中で息抜きをするときに使うお気に入りのアイテム (上位5位を表記) n=578】



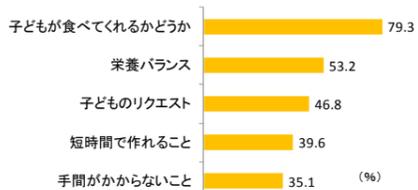
2016. 8. 25~8. 28 既婚女性を対象にWEB調査リビングくらしHOW研究所調べ

【幼稚園児ママのキモチ】

4割超が添加物、農薬、生産地気にする

幼稚園に通う子どものお弁当メニューの重視ポイントは子どもが食べてくれるかどうか、栄養バランス、子どものリクエスト、時間や手間がかからないことが上位に。6割以上の幼稚園ママがお弁当メニューのマンネリ・ワンパターン化に悩んでおり、材料を選ぶ際は7割以上が「子どもの好みに合うか」、4割以上が「添加物や農薬の有無」「生産国・生産地」を気にしている。

【幼稚園に通う子どものお弁当メニューの重視ポイント (上位5位を表記) n=111】



2016. 7. 29~8. 15 幼稚園に通う子どもがいる女性を対象にWEB調査

03 Group Eyes

「日本健康マスター検定」スタート 個人の「健康」に関する理解促進が 社会全体を変えていく

サンケイリビング新聞社などが後援する「日本健康マスター検定」が10月よりスタートする。自分や家族の健康を守り、生活や仕事に活かせる「健康リテラシー」を習得するために新しく生まれた検定だ。第1回の検定試験は2017年2月26日(日)、東京・大阪・名古屋で実施。受験申込みは10月3日から開始とのこと。

高齢化が進む一方で玉石混交の健康情報があふれる日本の社会。そのような状況の中で、生活者個人の「健康リテラシー」を高めることは、自分自身のためだけでなく、家族や友人知人、そして地域や職場においても健康のアドバイザー、リーダーとして、ひいては社会全体の健康に関する意識のポトムアップに繋がっていくのではないだろうか。今後の展開を大いに期待したい。

(サンケイリビング新聞社CC室)

健検

日本健康マスター検定

試験はレベル別に2段階

「ベーシック・コース」
自らの健康づくりのための正しい健康知識やノウハウの習得により基本的な健康リテラシーを身につけることを目的とする。

「エキスパート・コース」
自らの健康だけでなく、他者に対しても健康づくりや生活習慣のアドバイスをを行うための一定レベルの健康リテラシーを身につけることを目的とする。

日本健康マスター検定 公式HP
<https://kenken.or.jp/>